

別冊

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成25年5月21日)

- 1 平成25年度国土交通省関係予算の配分について 【県土総務課】……1ページ
- 6 鳥取市からの鳥取駅前駐車場用地売却の申出への対応について 【道路企画課】……5ページ
- 7 日野川水系の濁水について 【河川課】……7ページ

県土整備部

平成 25 年度国土交通省関係予算の配分について

平成 25 年 5 月 21 日

県 土 総 務 課

国の平成 25 年度予算が 5 月 15 日に成立し、予算の配分が発表されました。

国土交通省では、防災・減災対策、老朽化対策の推進、基幹的交通インフラ等の整備推進等に重点的に予算配分されています。

なお、県土整備部関係の概要は次のとおりです。

【総括】

- ・国土交通省（県土整備部関係）の直轄事業、補助事業の予算配分総額は、対前年度比でそれぞれ国予算の伸率（直轄：1.00、補助：1.10）以上の伸率（直轄：1.12、補助：1.98）となった。
- ・道路事業は、全国ミッシングリンクに当たる「山陰道」と「山陰近畿自動車道」について、直轄事業で前年度比 1.05 倍となる約 168 億円が配分され、補助事業（岩美道路）でも前年度比 2.64 倍の 37 億円が配分された。
- ・このうち、平成 25 年度供用が予定されている「鳥取西道路（鳥取 IC～鳥取空港 IC）」、「中山・名和道路」「名和・淀江道路」、「駈馳山バイパス」には平成 25 年度の供用に必要な額が配分された。
- ・また、平成 19 年度以降事業が休止されていた「北条道路」については、交差点部の交通安全対策事業が新規事業化されるとともに、全面的な事業化に向けてルート・構造検討に係る調査に着手することとなった。
- ・直轄河川、海岸、砂防事業は、千代川（稲常地区の完了）や法勝寺川（青木地区の流下能力向上）、大山山系砂防事業など前年度比 1.16 倍の約 30.6 億円が配分された。
- ・直轄港湾事業は、境港中野地区国際物流ターミナル事業に 13.2 億円が配分されるなど、前年度比 2.85 倍の約 20 億円が配分された。

1 直轄事業（県土整備部所管分、事業費ベース）

○直轄事業の配分額は、対前年度伸率 1.12、約 25 億円の増（同じ事業の国予算は対前年度伸率 1.00）

直轄事業の前年度比較（事業費ベース）

	本県の状況				国予算 の伸率
	H24年度 予算額①	H25年度 予算額②	増減 ②－①	伸率 ②／①	
道路事業	16,737	17,794	1,057	1.06	0.99
河川事業	1,335	1,625	290	1.22	1.01
海岸事業	460	561	101	1.22	1.05
砂防事業	852	873	21	1.02	1.01
港湾事業	700	1,992	1,292	2.85	0.95
ダム事業	278	—	△ 278	—	1.01
計	20,362	22,845	2,483	1.12	1.00

- (注) 1 港湾事業には境港管理組合分を含む。
 2 河川事業、砂防事業、ダム事業の国予算の伸率は治水事業を記載。
 3 現時点で内示のない道路事業の交通安全事業（Ⅱ種）は、H24 及び H25 予算額から除いている。（H24 交通安全事業（Ⅱ種）の予算額は 520 百万円）

(1) 道路事業

ア 全国ミッシングリンク『山陰道』『山陰近畿自動車道』

○「全国ミッシングリンク」に当たる『山陰道』と『山陰近畿自動車道』については、4月時点の平成25年度直轄事業計画における上限値が配分され、対前年度伸率は全国平均の1.00を上回る1.05となった。

・4月時点の直轄事業計画 94～169億円 対前年度伸率 0.58～1.05

・今回配分額 約168億円 対前年度伸率 1.05

※「全国ミッシングリンクの整備」に相当する国予算額

5,137億円 対前年度伸率 1.00

○平成25年度供用予定箇所については、平成25年度の供用に必要な額が配分された。

・「鳥取西道路（鳥取IC～鳥取空港IC）」 39.2億円

※配分額には鳥取空港IC(仮称)～吉岡温泉IC(仮称)を含む

・「中山・名和道路」「名和・淀江道路」 28.0億円

・「駟馳山バイパス」 54.3億円

○平成19年度以降事業が休止されていた「北条道路」については、交差点部の交通安全対策事業が新規事業化されるとともに、全面的な事業化に向けてルート・構造検討に係る調査に着手することとなった。

○鳥取西道路（鳥取空港IC～青谷IC）についても上限額が配分され、所要の用地買収や埋蔵文化財調査の実施とともに、着手可能となった区間における改築工事や鳥取西道路において最長となる気高青谷トンネル（L=2,127m）にも着手できる見込みとなった。

箇所名	今回配分額	備考
鳥取西道路	39.2億円	鳥取IC～鳥取空港IC(仮称) 平成25年度供用予定
鳥取西道路(Ⅱ期)	15億円	所要の埋蔵文化財調査と用地買収の実施とともに、改築工事や気高青谷トンネルにも着手できる見込み
鳥取西道路(Ⅲ期)	28億円	
中山・名和道路	15.5億円	赤碕中山IC～大山町下市 平成25年度供用予定
名和・淀江道路	12.5億円	大山町下市～名和IC 平成25年度供用予定
駟馳山バイパス	54.3億円	岩美町本庄～福部IC 平成25年度供用予定
鳥取自動車道 (付加追越車線)	2.0億円	鳥取市下味野(上下線)、智頭町市瀬(上下線) 智頭町福原(上り線)
米子道路 (付加追越車線)	1.92億円	米子市観音寺(上下線)
計	168.42億円	

イ 江府三次道路

・鍵掛峠道路 …… 0.25億円 対前年度伸率 1.00

箇所名	今回配分額	備考
鍵掛峠道路	0.25億円	道路予備設計、地質調査

ウ その他交通安全 | 種

- ・国道9号細川自転車歩行者道整備 (如来橋) 369 百万円
- ・国道9号湯梨浜・北栄地区事故対策 (北条道路の交差点部における交通安全対策事業) 54 百万円 外

(2) 河川事業

○以下のとおり 1,625 百万円が配分され、千代川では稲常地区の築堤、古海地区の河道掘削が、また、天神川では巖城地区の侵食対策が完了する見込みとともに、日野川の青木地区では河道掘削の促進、中海湖岸の旗ヶ崎地区では事業が推進できる見込みになった。(対前年度伸率 1.22)

- ・斐伊川: [中海湖岸堤等] 377 百万円 境港(渡)地区、葭津(空港南)地区
旗ヶ崎地区
[環境整備] 95 百万円 米子湾地区
[樋門改善等] 3 百万円 弓浜7号排水樋門ゲート改善
- ・千代川: [築堤、河道掘削等] 381 百万円 稲常地区、古海地区
[樋門改善等] 40 百万円 佐貫樋門開閉装置改善、江津第3樋門
転落防止柵改善
- ・天神川: [河道掘削、侵食対 496 百万円 小鴨地区、巖城地区
策等]
- ・日野川: [河道掘削等] 233 百万円 青木地区

(3) 海岸事業

○皆生海岸の離岸堤の人工リーフ化 (皆生工区) に、560.9 百万円が配分された。(対前年度伸率 1.22)

(4) 砂防事業

○江府町の「三の沢砂防堰堤」など 10 箇所 873 百万円が配分された。(対前年度伸率 1.02)

(5) 港湾事業

○境港 (境港管理組合事業)

- ・中野地区国際物流ターミナル整備事業に 1,318 百万円が配分され、岸壁本体着工や泊地 (—12m) の整備促進が見込まれ、早期供用に向けて前進することになった。
- ・防波堤整備に 196 百万円が配分された。(対前年度伸率 4.33)

○鳥取港

- ・千代地区防波堤整備事業に 478 百万円が配分された。(対前年度伸率 1.37)

2 補助事業 (県土整備部所管分、事業費ベース)

- 補助事業の配分額は、事業費ベースで対前年度伸率 1.98、約 28 億円の増となった。(同じ事業の国予算の対前年度伸率は 1.10)
- 全事業で対前年度伸率が国予算の伸率以上となっている。

補助事業の前年比較 (事業費ベース)

(百万円)

	本県の状況				国予算 の伸率
	H24年度 認証額①	H25年度 認証額②	増減 ②-①	伸率 ②/①	
道路事業	2,667	5,400	2,733	2.02	1.21
港湾事業	204	213	9	1.04	0.98
空港事業	-	78	78	皆増	0.48
計	2,871	5,691	2,820	1.98	1.10

(1) 道路事業

○地域高規格道路は、対前年の約2倍となる54億円が配分された。(国予算の伸率は1.03)

- ・岩美道路 ……37億円(対前年度伸率2.64)
- ・倉吉道路 ……7億円(対前年度伸率0.90)
- ・倉吉関金道路……8億円(対前年度伸率2.07)
- ・江府道路 ……2億円(対前年度伸率2.00)

(2) 港湾事業

○鳥取港の千代地区防波堤整備事業に213百万円が配分された。(対前年度伸率1.16)

(3) 空港事業

○鳥取空港

- ・滑走路の改良ほかに78百万円が配分された。(対前年度伸率 皆増)

3 交付金 (当初予算の国費ベース。全国防災分、政令市及び市町村分・他部局分含む)

交付金事業の前年度比較

交付金名	H24年度 配分額①	H25年度 配分額②	増減 ②-①	(百万円)	
				伸率 ②/①	国予算 の伸率
社会資本整備総合交付金	12,449	6,506	△ 5,943	0.52	0.59
防災・安全交付金		11,510	11,510	皆増	皆増
農山漁村整備総合交付金	56	1,114	1,058	19.9	16.6
合計	12,505	19,130	6,625	1.53	1.24

注)・H24配分額には補正予算分(経済対策)を含まない。

(1) 交付金の合計

H25年度は、対前年度伸率1.53と全国の配分総額の伸率1.24を上回る配分となった。

(2) 地域自主戦略交付金

H24年度をもって廃止された。

なお、当該予算は内閣府から各府省へ戻され、H25年度は社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金、農山漁村地域整備交付金として事業実施することとなった。

鳥取市からの鳥取駅前駐車場用地売却の申出への対応について

平成25年5月21日
 課 景観まちづくり推進課
 課 資源確保推進課
 課 交通政策課
 課 緑豊かな自然課
 課 道路医療企業政策課
 課 医 療 策 課

鳥取市が誘致を進める鳥取市医療看護専門学校(仮称)等の建設用地として、県所有の鳥取駅前駐車場用地を売却するよう市から依頼があったことから、現在、市と協議を進めており、その状況について報告します。

1 市からの依頼

駅前駐車場用地は専門学校用地として最適地であり、市道拡幅の計画もあるため、適切な価格で用地を売却されたい。

2 県の考え方

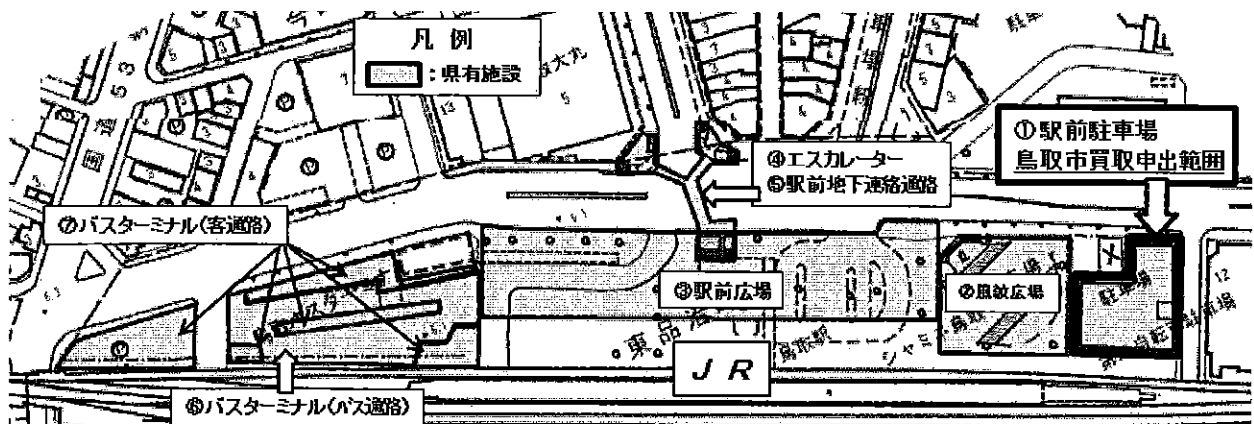
- 従来から市と協議を重ねてきた経緯を踏まえ、「鳥取駅北口広場は、鳥取市の顔・玄関口であり、市が一体的に整備・管理を行っていくべきもの」との基本スタンスで、鳥取駅北口広場の一体的な移管を市へ要望。
- 駅前駐車場用地売却の場合に必要な駐車場代替機能確保等の諸課題への市の対応を要望。

これらの協議を踏まえながら、用地の売却、鳥取駅北口広場の県と市の役割分担について協議を進めている。

3 駅北口広場の施設概要(県所管)

施設	所管	区分	面積(m ²)	備考
① 駅前駐車場	景観まちづくり課	普通財産	1,720.61	65台30分無料
② 風紋広場	緑豊かな自然課	行政財産	2,394.84	
③ 駅前広場	道路企画課	道路区域	7,890.00	
④ エスカレーター			160.50	
⑤ 駅前地下連絡通路			395.30	
⑥ バスターミナル(バス通路)			2,176.68	
⑦ バスターミナル(客通路)	交通政策課	普通財産	2,013.20	
計			16,751.13	

鳥取駅北口広場土地所有権図



〈参考〉新たな看護師養成施設の設置の動きについて(別紙のとおり)

<参考>新たな看護師養成施設の設置の動きについて

看護師不足の中、県東部において看護師養成の専門学校、中部において看護大学の新設の動きがあることから、県に「看護師養成の抜本的拡充に向けての検討会」を設置し、新たな看護師養成施設設置に向けた課題や対策等について検討を進めている。

平成25年4月27日に開催された第4回検討会において鳥取市から、「専門学校の設置候補地を二箇所絞っており、そのうち鳥取駅北口広場を設置主体である学校法人、鳥取市ともに優先に考えている」ということが示された。

今後も検討会を開催し、引き続きそれぞれの養成施設の設置に向けた課題や対策を検討していくこととしている。

○検討会の開催状況

区分	開催日	検討内容
第1回	H24年11月6日	<ul style="list-style-type: none"> ●県内の新たな看護師養成の動き ●看護師養成の現状 ●県内の看護職員の需給と将来見通し
第2回	H25年1月8日	<ul style="list-style-type: none"> ●看護師不足の現状等 ●看護師養成所の課題等
第3回	H25年3月27日	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな看護師養成所設置の取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市の取り組み ・学校法人藤田学院の取り組み
第4回	H25年4月27日	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取市からの報告 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市医療看護専門学校(仮)の設置候補地 ●看護師養成機関に関するニーズ調査の速報概要 ●鳥取県看護職員実習指導者養成講習会実施要項(案)等

○新たな看護師養成所の構想(第3回検討会(H25.3.27)で示された内容)

区分	鳥取看護大学(仮称)	鳥取市が誘致する看護専門学校
設置者	学校法人藤田学院 理事長 山田修平	学校法人大阪慈慶学園 理事長 浮舟邦彦
設置場所	倉吉市福庭 854	鳥取市(市街地)
開設予定年月日	平成27年4月1日	平成27年4月1日
入学定員(収容定員)	80名(320名)	80名(240名)
設置学部・学科等	看護学部看護学科(単科)	看護師3年課程 法人はリハビリ系も検討中
学費(年間)	1,450千円 (入学初年度は1,750千円)	1,000千円程度か
設置経費等	19.4億円 (施設13.9億円、設備1.5億円、 開設年度の経常経費4億円) 法人の自己資金として3億円は支出可能であり、16.4億円の公的支援を希望している。	土地は鳥取市が無償貸付。

日野川水系の渇水について

平成25年5月21日
河川課
農地・水保全課
企業局工務課

日野川水系において、積雪量が少なかったことやまとまった降雨がないこと等により渇水の状態になっており、用水の確保やアユの遡上等への影響が懸念されることから、取水制限が開始されました。

1 取水制限等について

(1) 内容

- ・発電取水者を除く全ての利水者の取水量より一律5%制限する。
(当時期最大取水量の5ヶ年平均値を基準とする。)
- ・期間は5月17日(金)から流況が改善されるまでとする。
- ・ダム等からの放流量を増加する。(20日14時～)
菅沢ダム(直轄管理) 2 m³/s → 最大4 m³/s
賀祥ダム(県管理) 1.1 m³/s → 1.3 m³/s

(2) 日野川流域の現状

- ・積雪量：平年の7割程度(大山観測所)
平年993cm 今冬686cm
- ・降水量：平年の8割程度(茶屋観測所)
(1～5月間で) 平年560mm 今冬450mm
- ・流量：正常流量6 m³/sに対し4.34 m³/s
(車尾地点 5/19現在)

※気象庁予報によると今後ともまとまった降雨が見込めない。

【車尾堰の状況：5月19日17時頃】



(3) 取水制限に係る調整の経緯

- 5/14 日野川流域水利用協議会幹事会開催
(事務局：日野川河川事務所)
- 5/16 同協議会開催⇒『取水制限の決定』
(主な意見)
 - ・アユの遡上がギリギリの状況
 - ・米川用水の取水量は現在でも約7～8割
 - ・ダムからの放流を要請
- 5/20 同協議会(第2回)開催
⇒『取水制限の継続、ダム放流量の増加を決定』

(4) 近年の取水制限

- H17:制限率35%、39日間
- H19:制限率20%、45日間
- H21:制限率20%、33日間

(5) 現時点の取水制限の影響

- ・工業用水や上水道への大きな影響はない。
 - ・鮎の遡上も支障はない。
 - ・干拓地(彦名・弓浜工区)の調整池は80～100%の貯水量である。
 - ・田への用水は概ねまかなえている。
- ※ なお、6月上旬まで田植えが続く見込みである。

2 渇水への今後の対応

菅沢ダム及び賀祥ダムの貯水量をみながら、取水制限の期間延長やさらなる取水制限の強化を関係者で調整していく。

3 他の2水系の状況

○千代川…水位低下傾向にあるため、5月23日に「千代川流域水利用協議会幹事会」を開催し、利水関係者等から現状報告及び意見交換を行う予定。

- ・鳥取市行徳地点の流量(5/19現在) 14.76 m³/s(正常流量14 m³/s)

○天神川…現在のところ、水位低下などの状況は見られない。

- ・倉吉市小田地点の流量(5/19現在) 9.32 m³/s(正常流量 2 m³/s)

